



《笑顔でチャレンジ!》

学校だより

上越市立下黒川小学校

第 8 号

令和2年11月13日発行

Tel.536-2467 FAX 536-6506

笑顔の力～ダンスフェスティバル～

校長 遠藤 俊幸

10月24日(土)、文化祭を開催しました。心配した天候は、雨も止み、時折日も差すなど、午前中は秋らしい爽やかな日となりました。

さて、恒例のダンスフェスティバルを文化祭で披露するようになって、本年度で3回目となりました。心班活動(1年生から6年生までの縦割り班による活動)を生かし、高学年児童のリーダーシップの下、選曲、振り付けを考え、休み時間も惜しんで練習してきました。当日は、審査委員の皆様から「みんなで心を一つによく動いています」「曲の雰囲気に合わせてダンスになっています」「昨年とは違う新しい踊りもあり、感心しています」と熱いコメントをいただき、ありがとうございました。私自身も、一人一人児童が一生懸命に踊る姿、弾けるような笑顔にふれ、楽しいひと時を過ごすことができました。

本年度のスローガンは「みんな笑顔 元気で楽しい 文化祭」

エンディング(閉会式)で楽しくダンスができた人を聞くと、ほとんどの児童が手を挙げました。私は「皆さんが楽しく踊れば、周りも楽しくなります。笑顔になります。元気にもなります。素晴らしいパフォーマンスをありがとう」と答えました。

スローガンに掲げられた「笑顔」には、とてつもないパワーが秘められています。笑うと、自分もつられて笑うという経験は誰もが持っています。笑うと楽しく、幸せな感情が生まれます。笑いによって、人は結びつき、認め合う関係になれます。けんかをして、一つの何気ない笑いで、緊張は和らぎ、許し合う関係になれます。笑いは、人を繋げるものであると同時に、絡まりをほぐすものでもあります。

ダンスフェスティバルは、笑顔(楽しさ)が伝播する行事であり、本年度のスローガンは正にこのことを表現していると言えます。感染症拡大は御免こうむりたいものですが、笑いの伝播は大歓迎です。

本年度は感染症対策のため、保護者(1家庭に2人以内)と一部関係者のみの来校としたことから、多くの地域の皆様にはご遠慮いただく形となってしまいました。来年こそは制限なく、大勢の皆様と共に文化祭を楽しみ、笑顔になれることを切に願いたいと思います。今後ご理解、ご協力の程、よろしくお願いたします



体育館に掲示した「令和2年度 文化祭スローガン」



ダンスフェスティバル

オープニングは、柿崎区のダンスチーム DDS の皆さんによるダンスと高学年による金管演奏から始まりました。その後、5つの心班によるダンスを披露しました。

柿崎区ダンスチーム DDS



金管演奏 曲目「RPG」「ファイナル」



C班 ダンス曲「インフェルノ」



B班 ダンス曲「HACK」

笑顔あふれるダンスを披露！ チームワークもバッチリです！



E班 ダンス曲「Starf」



A班 ダンス曲「シルエット」



D班 ダンス曲「感電」

わくわくしあわせタイム

わくわくしあわせタイムは、学校運営協議会委員の皆様が中心となり、企画から当日の運営まで担当していただきました。当日は、地域の方々やPTA役員の方からもご協力をいただきました。ありがとうございました。

今年は7つのブース「スマイルボウリング」「昔の遊び」「プラ板」「ストラックアウト」「輪投げ」「バルーンアート」「作って遊ぼうストローロケット」を開設しました。児童は、それぞれ希望のブースで楽しい一時を過ごしました。



昔の遊び



輪投げ



バルーンアート

地域のみなさんと楽しい一時を過ごしました！



ストラックアウト



ストローロケット



スマイルボウリング